

サポ かな

10

使える! 中小企業支援策を2分で拾い読み
第211号 2018年10月

CONTENTS

特集 人手不足・人材確保	02
働き方改革に関する県の取組み／ かながわサポートケア企業募集!	08
平成30年度7-9月期 中小企業景気動向調査／ 11月の巡回あっせん相談	09
若手事業者等交流会	10
神奈川がんばる企業エース ～大協技研工業 株式会社	11
借換支援融資／小規模企業共済・中小企業倒産防止共済	12
かながわシニア起業家ビジネスグランプリ／ 技能コンクール／神奈川県障害者技能競技大会	13
産技総研からのご案内 ～食品の機能性評価をサポート	14
ターニングポイント 運命を変えにいく! [Vol.4] (株)ういろう 二十五代目 外郎 藤右衛門 氏	15
KIPイベント情報10月～11月	16

特集

どうなる人手不足、 どうする人材確保!



表紙の人 大協技研工業 株式会社 代表 大山 康夫 氏 (後列右端) p.11「神奈川がんばる企業エース」

[事業内容] 粘着製品の加工、販売、技術開発 粘着応用製品の企画、加工、販売 [所在地] 相模原市南区相南 [設立] 1986年



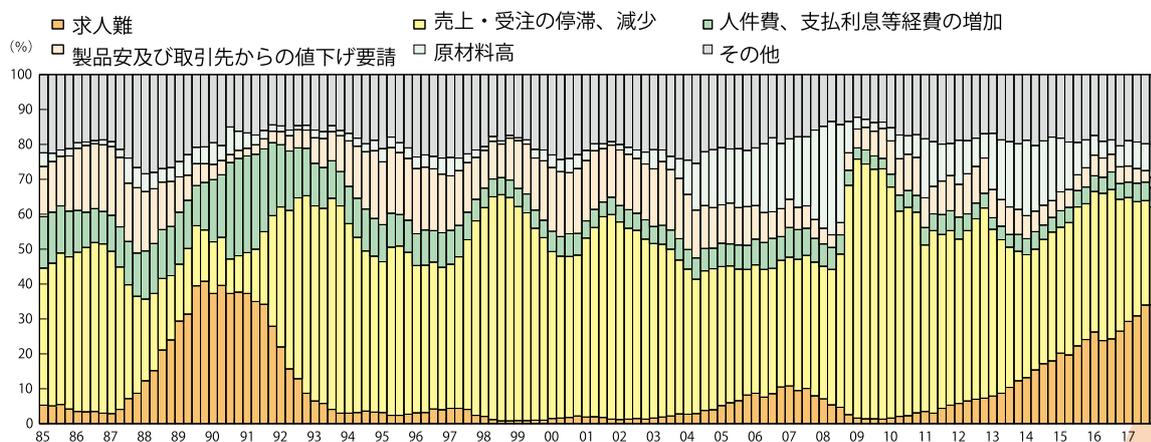
公益財団法人
神奈川産業振興センター

どうなる人手不足、 どうする人材確保!

今や中小企業の最大の経営課題として挙げられているのが、求人難(人手不足)の問題です。KIPでは、神奈川県よろず支援拠点に今年度から配置している「人手不足対応アドバイザー」を中心に人手不足、人材確保等についての相談に応じています。また、神奈川県プロ人材活用センターでは、民間人材ビジネス事業者と連携し、企業の成長戦略を実現させるための人材採用をサポートしています。今回の特集では、こうしたKIPが展開する活動等を紹介します。人手不足、人材確保にお悩みの皆さま、ぜひKIPにご相談ください。

●神奈川県よろず支援拠点 TEL 045(633)5071、経営総合相談課 TEL 045(633)5201

経営上の問題点



出典：2018年版中小企業白書 第2-1-2図 経営上の問題点(第2部第1章第1節)

人手不足対応アドバイザー、中小企業診断士、社会保険労務士、弁護士など総勢28名から成る神奈川県よろず支援拠点。皆さまの課題に応じてチームを組み、解決をお手伝いします

やり甲斐
づくりを!



求職者の
目に留まる
工夫を

目指せ!
若者に人気
のある企業



大学内で合同企業説明会を開催

働きやすい
職場づくりを



KIPの産学連携。経営者の生の声を学生に

神奈川県よろず支援拠点からのメッセージ ● 山崎 隆由 チーフコーディネーター

最近は「人手不足対応」の相談が増えています

就職の判断基準が変化

国内景気が少し上向きつつある中、様々な業種において「人手不足」が大きな問題になりつつあります。例えば、建設関連業界での人手不足は皆さまご存知の通りですが、それ以外の業種でも同様の現象が起きています。食品スーパーや飲食店、運送業などでも売上拡大の見込みがありながら、人手不足のためになかなか思ったように事業拡大の対策を講じられないという状況が生じています。

そのような状況なので、今日の明日に経験者が欲しいとか、来月までに経験者を採りたいといっても、都合よく「新規採用者」が確保できるわけではありません。最近では、「ハローワーク」ですら有効求人倍率が1.0を優に超えている状況で、ほとんどの業界が「売り手市場」となっています。そして、現在の給与の多寡だけが就職の際の判断基準ということではなく、会社の将来性とか、人材育成の考え方とか、若手社員の働き甲斐といったことが重要な判断基準となっています。

働きやすい職場づくりのアドバイスをしています

こうなると、人材紹介会社や人材派遣会社に問い合わせても、直ぐに優秀な人材は確保できません。求人企業側でも日ごろから計画的な採用戦略を練っておくことはもちろんですが、どのような人材をどのように育てるのかという自前の人材育成戦略や、現場の若手社員の働き甲斐づくり戦略を計画的に策定しておくことが重要です。行き当たりばったりでは人材を確保することはできません。重要なことは、早め早めの準備を進めておくことです。

そこで、神奈川県よろず支援拠点では、従業員が働きやすい職場づくりの一環として、

- 土・日・休日を確保しやすい業務シフトづくり
- 平日残業を可能な限り平準化する勤務シフトづくり
- 変形労働時間制の新規導入
- 就業規則の見直しや新規作成

などの取組みをサポートしています。また、最近ではそれに留まらず、

- 従業員が元気に働く現場づくりの成功事例（関連記事 P.6下）
- 中途採用予定者が順番待ちする会社事例
- 会社の雰囲気を知りやすく伝えるためのホームページの作り方なども紹介しています。

それ以外にも、生産性向上を図るための取組みである補助金や魅力ある職場づくりや社員教育のための助成金申請もサポートしています。

次ページからは、日々多くの人材に関する相談に乗り、経営者の皆さまと悩み、課題解決に向けて奮闘している2名のコーディネーターからのメッセージと関連施策情報などをご案内します。



「人が来ない」会社から 「人が来る」会社へ

会社の「人気」をつくる職場改革

日々多くの中小企業経営者の方からご相談を受けていて感じるのが、抱えている悩みの多くは以下の3つに集約されるということです。

- ・売れない
- ・人がいない
- ・社内コミュニケーションが良くない

これ実は「人が来ない」会社の悩みそのものなのです。しかし、この悩みの原因、何だと思えます？実は「人気がない・・・」。この一言につきま。身もふたもない気もしますが、「人気がない」ことが問題なのです。結局、人気がないから売れない。人気がないから人が来ない。人気のない企業にいる人は楽しくないので、コミュニケーションがうまくいかない。結果、離職者が増える。そうなのです。問題は「人気」なのです。

このようなことを言うときのような反論も聞こえてきそうです。「うちは堅実な、まじめな商売なのだ。そこらの浮わついた人気商売とは違う!」。そう言ってしまったあなた、終わっています。時代は変わりました。「人気」の価値が昔よりスーパーに高騰しているのが現代です。誰もが自分の「好き」をSNS等で社会に自由に発信できる世の中なのです。皆の「好き」を最大限利用しなくてはなりません。世の中の人に、あの会社は小さいけど「いいね!」と。あの会社には長く頑張っていて欲しいねと言ってもらわないとダメなのです。

国もよろずも「人気」のある会社の育成を支援

人気のない会社で働いている社員はつらいです。存在を否定されているようなものですから。あなたの大切な息子や娘を入れたくない会社には、誰の息子や娘も入りたくありません。あなたの会社を世の中から愛される、誰もが働きたくなるような会社にしましょう。そのためにもどのような工夫やチャレンジができるのか？

そこで提案ですが、まずは人手不足と思う前に、今一度職場を見直し、生産性を上げる工夫をしてみたいかがでしょうか。例えばIT導入補助金を使い、会社の魅力が伝わるようなWEBサイトの拡充やこれまでの受発注システムをIT化してみる。また、ものづくり補助金を使い、新たな設備を導入することで今まで4人でやっていた業務を1人の力で可能にする。また、2019年10月より変更される消費税に備え、軽減税率対策補助金を使いレジシステム、会計システムの改修をスムーズに行えるように今から準備しておく。国はみなさんの「生産性向上」のために様々な施策を用意しています。

補助金や助成金は、決して何か一過性の費用負担を安く済ませるためのものではありません。ぜひ未来につながる長期的な計画を立て、真に魅力ある「人気」のある会社を目指してください。よろず支援拠点も全力で応援します。皆さまお気軽にご相談ください。



魅力ある会社づくりに 助成金を活用してみませんか

働き方改革の実行に向けて国も助成金を用意

日本の雇用環境が大きく変わろうとしています。現在の人手不足を解消する、すべての国民が活躍できる「多様な働き方を選択できる社会の実現」として、2017年3月に働き方改革実行計画が公表されました。これに伴い2019年4月以降、働き方改革に関する8つの法律改正も施行されます。

厚生労働省の助成金は、雇用保険を支払っていれば個人事業主や法人に関係なく、各助成金の要件を満たすことで申請できます。業績を伸ばしている会社では、積極的に教育投資や従業員の福利厚生を向上させるために、各助成金を申請し上手に活用しているところが少なくありません。働き方改革実行計画でも国の施策に沿った取組を行う会社には、助成金が用意されています。皆さまの会社でも従業員が働きやすい職場環境の整備や労働条件の改善等を行い、他社とは違う魅力ある会社づくりをこの機会に考えてみてはいかがでしょうか。

■ 働き方改革実行計画

①非正規雇用の処遇改善	⑦育児・介護と仕事の両立、障害者の就労支援
②賃金引上げと労働生産性の向上	⑧転職・再就職支援
③長時間労働の是正	⑨教育環境の整備
④柔軟な働き方がしやすい環境整備	⑩高齢者の就業促進
⑤女性・若者の活躍しやすい環境整備	⑪外国人材の受け入れ
⑥病気の治療と仕事の両立	

■ 主な助成金

「従業員の離職率低下に取り組みたい」
～人材確保等支援助成金(雇用管理制度助成コース)～

「設備投資をした上で、従業員の賃金UPに取り組みたい」
～業務改善助成金～

「勤務間インターバル制度※の導入で、時間外労働削減に取り組みたい」
～時間外労働等改善助成金～

※ 勤務終了時刻から次の勤務の始業時刻までの間に9時間以上の休息時間を設けるもの

*詳細は神奈川県労働局ホームページ
(<https://jsite.mhlw.go.jp/kanagawa-roudoukyoku/>)をご参照ください。



おさらい「働き方改革関連法」…ポイントは4つ (中小企業の施行日)

1. 時間外労働の上限規制(原則月45時間、年360時間) (2020年4月～)
2. 月60時間超の時間外労働に対する割増賃金の見直し(2023年4月～)
3. 年次有給休暇の確実な取得(毎年5日、時季指定) (2019年4月～)
4. 正規、非正規労働者間の不合理な待遇差の禁止 (2021年4月～)

*働き方改革に向けて、国では「働き方改革推進支援センター」を設置し、相談対応を行っています。あわせてご利用ください。

神奈川県働き方改革推進支援センター 同出張所
TEL 045(307)3775 TEL 046(204)6111



専門的な人材採用で「攻めの経営」へ転換

人材に投資するという考え方を

これからの中小企業は日本の産業構造の変化、人口減少と少子高齢化、働き方改革の進展（魅力ある職場づくりの実現）などという経営環境が大きく変わるなかで、成長していかなければなりません。そのために一番経営者に求められているものは、3年後、5年後の会社の目指すべき姿・ビジョンをしっかりと持つことです。そして、ビジョンの実現に今すべきことは何か。経営資源であるヒト・モノ・カネの中で共通することは、おそらくヒトの問題です。

企業の成長戦略を実現させるための人材は、機械などの設備投資と同様にコストをかけてでも採用する、つまり人材に投資するという考えを持つことが企業経営者にとって必要であると思います。

専門的な人材の採用をお手伝いしています

「神奈川県プロ人材活用センター」では、企業が経営戦略・成長戦略の具体化を進めるうえで、それを担う専門的な人材が必要だ、ということになれば、人材の採用を橋渡しいたします。皆さまよりご一報いただければ、4人のマネージャー・サブマネージャーが人材ニーズのヒアリングに伺い、民間人材ビジネス事業者と連携しながら戦力となる人材をお探しします。

「攻めの経営」を実現するための次の一歩について、皆さまの思いを伺わせてください。



●神奈川県プロ人材活用センター TEL 045(633)5008 E-mail:pro@kipc.or.jp

人材の育成・定着戦略の1つ「メンター制度」

こんな手もある!

メンター制度とは、上司とは別に指導・相談役となる先輩社員が新入社員をサポートする体制です

●経営総合相談課 TEL 045(633)5201



A社 事例紹介

数年ぶりの新卒採用だったため、30代の方がメンターとなり1年間サポートしています。来年度からは1年先輩が新入社員のメンターとなる予定です。

交換ノートを使い、小さな事でも相談できるように工夫しています。業務に対する捉え方や考え方など年齢のギャップを埋める効果も感じています。

B社 事例紹介

1年先輩の社員がお世話係としてサポートしています。採用活動から参加しており、就業開始までにイベント等で顔を合わせる機会も企画しています。

ベテラン社員とも入社前から顔を合わせることで、社内の雰囲気など隠さず伝わるので、4月以降の不安解消にも効果があり、安心感を感じられるのではないかと思います。

1年目の研修や実習などは、1日中同じ業務を行うのではなく、複数の業務を組み合わせるように変更するなど、社員の意見を取り入れ、臨機応変に対応しています。

KIPマネージャーからのメッセージ 福田 有子(中小企業診断士、キャリアコンサルタント)

学生との面談例から若手人材の確保、育成のヒントを見つけませんか

若手人材の確保、育成には、今どきの若者がどのような就職、仕事観を持っているのか。いわゆる「**当世学生気質**」を知ることにも必要です。大学でキャリアコンサルタントを務める経験に基づき、就活中の学生との面談を再現します。若い人材が「ずっと居続けたい」と思えるような社風や制度作りの参考にしてください。



福田マネージャーからのアドバイス

企業の情報をインターネットで調べ、よく見て決めようとしています。同業他社と比較した、自社の特徴を多くホームページに記載する方が関心を得やすくなります。

WLBは今の若手社員のキーワードです。新卒3年後の辞職率は約3割ですが、企業選びの段階では、定年まで同じ会社で長く働きたいという気持ちでいます。

学生が企業と接するときには社風も含めて、よく観察しています。社風が見えると、働く職場が想像しやすくなります。

常識を前提として説教するのではなく、若手社員の目線にあわせて、理屈で諭すことを考えましょう。

企業訪問では、社員間のコミュニケーションが気になる

福田(以下、F):鈴木さん、今日どのようなご相談ですか?

鈴木さん(以下、S):自分に合った会社で就職したいんです。**ネットで調べているんですけど、情報があまり載ってないんですよ。**

F:自分に合った、というのはどういう会社ですか?

S:**定年まで安定して働ける会社**がいいんですよ。

F:鈴木さんにとって、安定して働ける会社ってどんな会社かなあ?

S:いくつになっても、**ワーク・ライフ・バランス(WLB)**がとれるところですね。残業が受け入れられる範囲内であれば、給料は人並みでいいです。あとは、自分を大事にしてくれそうなおとこと職場の居心地が良いですよ。

F:そう、居心地が良いってどんな職場なの?

S:**企業訪問した時に、社員間で年齢や役職に関係なく自由に話し合っていると居心地よさ**そうだし、あとは僕の話が率先して聴いてくれて、理解しようと気遣ってくれると大事にしてくれそうだと感じます。僕、こう見えてメンタル弱いんですよ。「常識だろ」と**理不尽で高圧的な態度で接してくるような先輩社員がいたら、もう無理です。**嫌われたくないのに、意味分かんないです。

F:そういう時は、嫌われているわけでは

ないのよ。先輩社員もどう教育すればいいか、分からないまま接しているんだよ。

失敗しないよう、先輩からの詳細な指示を待っている

S:僕は褒められて伸びるタイプなんだけど。

F:そうなのね。鈴木さんは**これまで何事にも責任をもって最後までやり遂げる行動**をしてきているから、**仕事でも同じように取り組めるよね。それは社会でも生きる、必要な力だよ。**

S:本当ですか。でも、実は自分が社会に出て通用しないのではないかと不安なんです。**自信がなくて。**

F:なぜ自信がないの?

S:だって、学生の学んだ知識だけで仕事ができるとは思ってないんですよ。**企業から僕がそのまま仕事できるものと判断されて、「はい、やって」の一言だけで仕事**がきたら、**無理です。**失敗したらどうするんですか。

F:新卒で入るのだから、企業は1から教育しようと思って採用しているよ。失敗したらどうなる、成長できないと思う?

S:失敗したくないんです。失敗して叱られるのも嫌だし、**失敗はムダ**だから。詳細に指示されないで、僕ができなかったら、それは指示した人が悪い。忙しい先輩には分からないことを聞きづらいですよ。勝手にやって失敗して、叱られるのは僕じゃないですか。「君がいてくれてよかった」と会社から必要とされる存在になりたいんですよ。

褒めるコツは、根拠を含めた良いところを伝えることです。相談後には「自信がもてた」との感想がありました。

自信がない、不安という学生が多くいます。

教育方法をHPに記載していない会社には、教育されないと誤解するケースが多くみられます。教育方法をHPに記載しましょう。

失敗したくないので、行動するのに時間がかかるという学生が多くいます。「行動しなければ実力にならない。行動して失敗した時に、次失敗しないように改善すれば実力になる、それは成長なのだ」と説明しています。

「日々の仕事で精一杯、他に手が回らない」ことでしょう。

しかし1日1回、これまでの常識を疑い、周囲の意見を受け入れ考える意識を持てば、社員が居続けたい社風となるだけでなく、生産性向上につながります。

働き方改革

働き方改革に関する 県の取組みのご紹介

働き方改革の推進に
お役立てください。

■ かながわ働き方改革シンポジウム

日時:11月1日(木)13:30~16:30

会場:川崎市役所 第4庁舎 2階 ホール

(JR川崎駅・京急川崎駅より徒歩約10分)

テーマ:「個人も組織も成長するための働き方改革」

(基調講演及びパネルディスカッション)

講師:元株式会社東レ経営研究所社長 佐々木 常夫 氏

対象:県内事業所に勤務する経営者、人事労務担当者、管理職等 250名

主催:神奈川労働局、神奈川県、横浜市、川崎市、相模原市

申込:川崎市経済労働局労働雇用部までTEL等で



基調講演講師 佐々木 常夫氏

●川崎市経済労働局労働雇用部 TEL 044(200)3653

かながわ働き方改革シンポジウム

検索

■ 働き方改革アドバイザー派遣

県では、個別の中小企業等にワーク・ライフ・バランスに関する専門のアドバイザーを派遣し、その企業等の現状に応じた業務の効率化や従業員の働きやすい環境整備に向けたアドバイス・研修等を実施しています。ぜひご活用ください。

【課題例】 ○業務改善・長時間労働削減

○女性の活躍推進

○仕事と育児・介護の両立推進など

【派遣例】 第1回目:現状把握

第2回目:取組み・運用方法の提案

第3回目:導入サポートまたは研修

●県労政福祉課 TEL 045(210)5746

神奈川県 働き方改革アドバイザー

検索

両立支援

かながわサポートケア 企業募集!

仕事と介護の両立に取り組んでいる
企業の皆さま、ぜひご応募を!

県では、従業員の仕事と介護の両立に向けた職場環境の整備を積極的に行っている優良企業を「かながわサポートケア企業」と認証し、PRします。

認証を受けるメリット

1 神奈川県が企業をPR

2 自社の広報に認証マークを利用可能

3 入札参加資格登録における優遇措置

※ 詳細は県ホームページをご覧ください。



かながわサポートケア企業

かながわサポートケア企業

検索

●県労政福祉課 TEL 045(210)5744



調査結果

平成30年7-9月期 中小企業景気動向調査 業況DIは1.1ポイントの低下

KIPでは、県内中小企業の景気動向等を把握し、これを効率的な中小企業支援の実施に活用するとともに、県内中小企業者等の皆さまに経営判断の参考としていただくために、四半期に1度、中小企業景気動向調査を実施しています。今回は、平成30年度第2四半期(30年8月調査)の調査結果についてお伝えします。 ●経営総合相談課 TEL 045(633)5201

■調査概要

- ・調査期間(時期)平成30年7-9月期(同年8月)
- ・調査対象 県内中小企業2,000社
(製造業550社、建設業250社、商業・サービス業1,200社)

・回答数(率)1,007社(50.4%)

・分析方法 DI(Diffusion Index)※による分析
※業況等について、「良い」と回答した企業の割合から「悪い」と回答した企業の割合を引いた数値

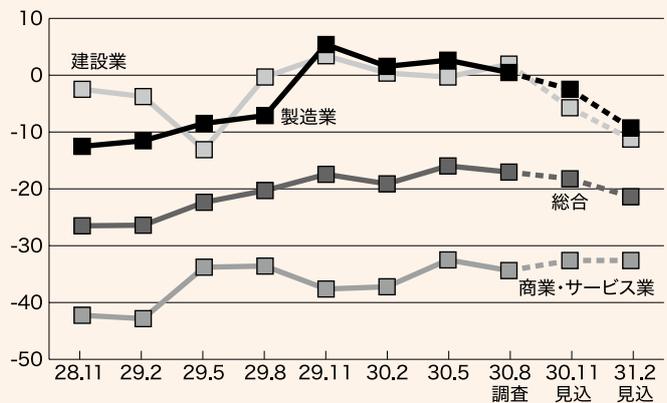
■調査結果

総合の業況DIは、前期比1.1ポイント低下の▲17.0となりました。

業種別では、製造業は同2.2ポイント低下の0.8、建設業は、同2.3ポイント上昇の2.3、商業・サービス業は同1.9ポイント低下の▲34.6となりました。

今後の総合の業況DIでは、3ヵ月後は現在比1.2ポイント低下の▲18.2を見込み、半年後は同4.4ポイント低下の▲21.4を見込んでいます。
(調査結果の詳細はホームページに掲載しています)

業況DIの推移



取引相談会

新たな取引先をご紹介します! 11月の巡回あっせん相談

KIPでは、県内中小企業者等の皆さまの安定的な取引の確保・拡大を図るため、各地区で受・発注取引のあっせん相談を行っています。あっせん相談は、県内7地区の商工会議所等とKIPの川崎・相模原両駐在事務所でも実施しています。新たな販路開拓をお考えの皆さま、お近くの会場をご利用ください。 ●取引振興課 TEL 045(633)5067

開催場所	日時	
藤沢商工会議所	6日(火)	13:00 ~ 16:00
横須賀三浦地域県政総合センター	8日(木)	
秦野商工会議所	9日(金)	13:30 ~ 16:00
小田原箱根商工会議所	14日(水)	
茅ヶ崎商工会議所	19日(月)	13:00 ~ 16:00
大和商工会議所	20日(火)	
平塚商工会議所	21日(水)	13:30 ~ 16:00
川崎駐在事務所 ※1	毎週木曜日	13:00 ~ 16:00
相模原駐在事務所 ※2	14日(水) 28日(水)	



※1 川崎市産業振興会館 6F
〔(公財)川崎市産業振興財団〕内

※2 相模原商工会議所商工会館 3F
〔相模原商工会議所〕内

商店街振興

若手商業者等交流会を 開催しています!

商店街を取り巻く環境が厳しい中
様々な工夫を重ねる若手がいる

開催の趣旨 ～若手商業者を商店街のリーダーに育成!

県内各地域の商店街は、地域のにぎわいづくりに取り組んでいますが、中心メンバーの高齢化が進んでいるため、引き続き役割を担っていくためには、若手商業者をリーダーとして育成していく必要性に迫られています。これまで、県では若手商業者と異業種の事業者とのネットワークづくりを支援しており、一部の地域では元気な商業者が中心となって「ちょい呑み」など商店街組織を超えたイベントを仕掛け、地域活性化に貢献しています。

平成28年度からは、既に地域のリーダーとして活躍している商業者と、今後、リーダーとなることが期待される若手商業者との交流会を神奈川産業振興センターと連携して開催し、地域活性化のノウハウを伝承する機会を作りました。県内5地域において、現在までに、8回ほど開催しており、原則どなたでも参加できます。

(これまでの開催内容)

昨年度は、実に多岐にわたり、あらゆる手段を用いて地域を活性化しようとする事例の発表がありました。

*小田原まちなか市場 *湯河原のぶらん市
*六角橋商店街プロレス *歌って踊る相模大野の飲食店主
*横須賀ちょい呑み *ずし呑み *葉山こどもタウン など

また今年度は、

[*かつて相模原のアメ横と称された西門商店街が再生に苦しむ現場において、参加者の全く新しい発想を提案]したり、
[*川崎の若手和菓子店主が地産地消で新たな需要を開拓]しようとしたりする姿を見ました。

みなさんも、ぜひ新しいつながりを得て、日頃のご商売を見直してみませんか。

次回の開催 ～商店街の方々が歌い踊るラブ動画を発表!

今回は現在若手商業者グループが進めている、商店街ラブ動画づくりを発表します。県内の商店街には、オリンピックが来ても、東京の商店街にはお客さんは集まるが、神奈川の商店街には鎌倉や箱根を除いて誰も来ないのではないかという危機感があります。そこで何とか神奈川の商店街も盛り上がっているよという姿を見せようと、商店街の方々が歌い踊るラブ動画を作って、お互い競い合っています。現在までに茅ヶ崎、相模原の商店主が作りました。この動画を発表し、歌っている商店主がどう変わったかを知っていただきます。

開催日時:10月23日(火) 19:00~22:00

開催会場:シェアリーカフェ

横浜市都筑区中川1-4-1 ハウススクエア横浜107

●県商業流通課 商業まちづくりグループ TEL 045(210)5612



平成30年度1回目
西門商店街の活性化について討論



平成30年度2回目
若手和菓子店主の取組みについての紹介



平成29年度
相模大野の飲食店主によるバンド演奏



見てくれ、神奈川の企業力!

— 神奈川がんばる企業エース — [Vol.8]

県は、独自の工夫により付加価値額や経常利益を増加させた中小企業からの申請により46社を「神奈川がんばる企業」として認定し、中でもビジネスモデルの独創性や地域貢献度などが特に優れた10社を「神奈川がんばる企業エース」に認定しました。エース企業に、その原動力をインタビュー!

精力的に自社開発製品を生み出す
粘着テープ加工/販売の会社

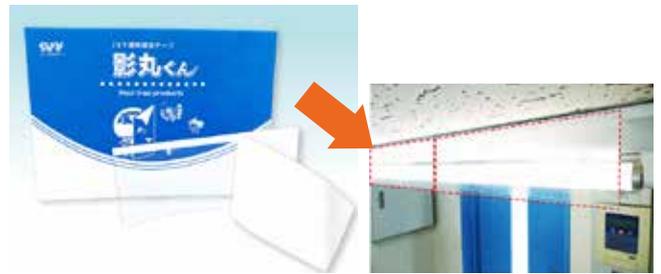
大協技研工業 株式会社

電気電子、自動車向け等の工業用粘着製品を開発・製造する大協技研工業(株)。工業から農業まで広く活用できるオリジナル商品を生み出すべく、社員参加の「ものづくりコンテスト」を開催している。そんな中、営業担当がお客さまの声に耳を傾け発案した「寄せ付けない力」が特徴の製品に、お客さまが群がっているという! 「粘着」なのに「寄せ付けない」とは?! 代表の大山 康夫 氏に聞いた。

●県中小企業支援課 TEL 045(210)5556



忌避効果で歩行害虫の侵入を阻止する「キヒ巻くん」の設置事例



忍者のように身を隠し飛翔害虫を根こそぎキャッチする「影丸くん」の設置事例

次世代型防虫テープで加工業から脱皮中!

「無理」を克服

粘着剤の企画から粘着テープの加工・検査までの工程を全て一貫してできる対応力が当社の自慢です。お客さまの実際の課題を解決する為の製品仕様提案のノウハウを活かして、従来では無理と云われていたL字形状に巻き取られた害虫忌避製品、既存の蛍光灯やLED灯に設置しても外観を損なわない透明度の高い害虫捕獲用の粘着シートなど、ユーザーがすぐに使用でき、お客さまの作業工程内での歩留まり向上を実現する為の製品を創出しました。

異物混入に悩む声に耳を傾け

近年、食生活を取り巻く環境は大きく変化し、消費者の食に対する関心は高まっています。それに伴い食品製造業者や加工業者、また、農業、肥料などの製造業においてはISO22000の取得が進んでおり、異物混入対策においてもより高い効果が求められています。

以前から当社では、エアシャワー内に浮遊するゴミを捕集する粘着シート

「IVYキャッチャー」を開発し自社製品として販売していますが、食品工場の皆さまがゴミのみならず、工場内に侵入する虫に困っているという声を当社の営業担当が耳にしました。そこで、当社の別事業のノウハウを活かし、害虫が嫌う成分を練り込んだ粘着フィルム「キヒ巻くん」を開発。アリ、クモなどの歩行害虫が通る床と壁の境目に貼り侵入を防ぎます。また、光に集まる飛翔害虫の習性を利用した透明捕虫テープ「影丸くん」も販売を開始しました。こちらは薬剤や誘引剤をいっさい使っていません。

社内で「ものづくりコンテスト」

「加工業」から「粘着応用製品メーカー」へ変革し、粘着を通してお客さまの抱えている課題を解決すると同時に、お客さまに感動していただける製品を創出できるオンリーワン企業となることを目指しています。製品の創出は全社一丸となって続けており、「ものづくりコンテスト」では、国内市場に向けた製品づくりから発展し、現在では当社グループ会社の

あるタイ・フィリピン・インドネシアや、その他アジア諸国や欧米の市場に向けた新製品の考案を進めています。

現状に満足せずこれからも常に新しい事、新しい物に挑戦し続けます!

企業数が約20万社にも及ぶ神奈川県の中で、本認定をいただけたことは、従業員のモチベーション向上につながりました。採用の面においても、以前より多くの方に応募いただけるようになりました。100年企業に向けて、エースの名に恥じないよう、未来を創っていきたく考えています。

エース企業に
選ばれて

大協技研工業 株式会社

設立:1986年

事業内容:粘着製品の加工、販売、技術開発
粘着応用製品の企画、加工、販売

所在地:相模原市南区相南1-22-4 DKビル

TEL 046(252)9311

資金調達

借換えをご検討されている 中小企業者の方へ

～県中小企業制度融資の借換えに
借換支援融資をご利用ください～

■借換支援融資

融資対象者 中小企業制度融資の「経営安定資金」をご利用中の方で、当融資を利用した借換えにより、借換え前と比べて毎月の元金返済額が軽減される中小企業者等

※「経営安定資金」以外の中小企業制度融資の借入も併せて一本化可能
※借換え前と比べて毎月の元金返済額が軽減される範囲内で、新規融資(真水)の上乗せ可能

資金用途:借換資金 **融資限度額:**8,000万円
融資利率:年2.2%以内 **融資期間:**1年超10年以内
保証料率:0.45%～1.52%(県信用保証協会の保証が必要)
お申込み:取扱金融機関の窓口へ直接お申込みください。

●県金融課(金融相談窓口) TEL 045(210)5695



神奈川県 制度融資

検索

共済制度

小規模企業共済・中小企業 倒産防止共済のご案内

小規模事業者の方々へ
大切なお知らせです!

■小規模企業共済とは～

小規模企業の経営者の方が、事業をやめられた後の生活の備えとなる「経営者の退職金」です。掛金は月額1,000円～7万円の範囲内(500円単位)で自由に選べます。掛金は全額「小規模企業共済制度等掛金控除」で課税対象所得から控除でき、受取時も税制面で優遇されます。

■中小企業倒産防止共済とは～

取引先が倒産し、売掛債権等が回収困難になった場合に貸付が受けられる制度です。掛金は月額5,000円～20万円(5,000円単位)の範囲内で掛金総額800万円まで積立可能です。掛金は全額損金又は必要経費に計上できます。

将来の為に、安心・安全な両共済制度へのご加入をご検討ください。

※両共済制度にご加入の際は、一定の要件があります。



●独立行政法人 中小企業基盤整備機構 共済相談室 TEL 050(5541)7171 平日9:00～18:00

起業応援

かながわシニア起業家 ビジネスグランプリを開催

シニアの起業をコンテストで
応援します!

シニア層による起業を応援するため、「かながわシニア起業家ビジネスグランプリ2019」を開催します。シニアの起業家や起業準備者のビジネスプランを募集し、選考の上表彰式を行います。

1.募集部門と対象者

【ベンチャー部門】

概ね55歳以上で、起業から10年未満かつ本県内を拠点に活動しているシニア起業家(個人事業主、法人のいずれも応募可能)

【アイデア部門】

概ね55歳以上で、本県内での1年以内の起業を予定している方
※ 55歳未満の方も応募可です

2.締切 エントリー締切 11月 9日(金)17時
ビジネスプラン応募締切 11月16日(金)17時 必着

応募方法、選考方法、表彰式等詳細についてはHPをご覧ください。

<http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/0604/seniorgrandprix/> ● 県産業振興課 TEL 045(210)5639



受賞者プレゼンテーションの様子



2018受賞者

かながわシニア起業家ビジネスグランプリ

コンクール

第50回技能コンクールを 開催します!

県内の中堅技能者が技能を
競い合います!

県内の中堅技能者の技能向上や技能継承の促進を目的として「第50回技能コンクール」を開催します。技能者達の技と熱い真剣勝負をぜひご覧ください。

開催日:11月10日(土)10:00~15:45
(競技時間は10:00~14:00)

会場:県立産業技術短期大学校 西キャンパス
(横浜市旭区中尾2-4-1)

競技職種:建築大工、左官など9職種
※ 参加申込状況などにより実施できない場合あり

- 県産業人材課
TEL 045(210)5720
- 神奈川県技能士会連合会
TEL 045(633)5417



コンクール

日ごろ培った職業技能を 競い合います!

第16回神奈川県障害者技能競技大会開催

障害のある方々が、日ごろ職場などで培った技能を競い合うことにより、職業能力の向上を図るとともに、企業や社会一般の方々が障害者雇用に対する理解と認識を深め、その雇用の促進を図ることを目的として、神奈川県障害者技能競技大会(アビリンピック神奈川2018)を開催します。

ぜひ、選手の真剣な姿を会場でご覧ください。

開催日:10月25日(木)13:00~15:30 ※機械CAD競技種目のみ実施
10月27日(土)9:00~15:30

会場:神奈川障害者職業能力開発校
(相模原市南区桜台13-1)

競技種目:DTP、ビルクリーニング、縫製など12種目

アビリンピック神奈川

- (独) 高齢・障害・求職者雇用支援機構 神奈川支部
高齢・障害者業務課 TEL 045(360)6010
- 県産業人材課 TEL 045(210)5720

食品の機能性評価をサポートします

食品中の栄養成分及び機能性成分への関心が高まっています。2015年に機能性表示食品制度が始まり、安全性や機能性について一定の条件をクリアすれば「どのように機能するか」を表示できるようになりました。神奈川県立産業技術総合研究所(KISTEC)では、成分分析や機能性成分評価の試験メニューや機器を取りそろえ、食品の機能性評価のサポートを行っています。また、食品加工の試験なども行っています。今回は食品関連の支援事例を紹介します。

1. 植物工場生産する野菜

植物工場は人工制御によって環境を作り出し、計画的かつ安定的に野菜を育てることができます。種々の波長を組み合わせた光を照射して栽培した野菜の品質、特に栄養成分量や機能性成分量の評価について支援しました。



提供:株式会社キーストーンテクノロジー

3. 日本酒

日本酒の味は、甘味、酸味、辛味、渋味、旨味の成分が複雑に絡み合い構成されています。そこで、味にかかわる成分の含有量の測定、醸造法と味わいの相関関係の検討などを行っています。



提供:泉橋酒造株式会社

2. ニンニクオイル

細かく刻んだニンニクをオイルで低温加熱することで、様々な機能性成分が生成されます。これら数種類の成分について含有量の測定を行いました。また、含有量が増加する調理条件の検討などを支援しています。



提供:合同会社わざあり

4. 乳酸菌発酵物

乳酸菌を利用した発酵食品は、整腸作用、免疫力の向上がよく知られていますが、菌体成分の他にも多くの種類の機能性発酵代謝物が含まれていることから、整腸、免疫賦活以外の機能性についても評価を行いました。



提供:株式会社LIKE TO DO JAPAN製菓

食品に付加価値をつけるためには、よりおいしくする、より食べやすくする、外観をよくするなど多くの方法があります。KISTECでは科学的な方法により食品の機能性を見つける研究を長年にわたり行ってきました。その経験と実績を基に、機能性表示食品の商品化を支援いたします。細胞や動物を使った評価やヒト試験に関する相談も承ります。

事業の詳細はKISTECホームページに掲載しています。

https://www.kanagawa-iri.jp/r_and_d/project_res/labo_intro/shokuno_kinousei/



銀行を辞め、45歳で薬科大へ。650年続く老舗を地域に生かす



株式会社 ういろう 代表取締役 二十五代 外郎 藤右衛門 氏 (56)



社員と祇園祭の山鉾巡行に参加。後ろの「蠅螂山」は、外郎家の祖先が創始したと伝えられている

650年守る家伝薬/

「5代目が北条早雲の招きで京から小田原に移って500年。以来、存続の危機は何度もありました」。1368年創業の、現存する日本最古の製薬会社であり、県内最古の商家である「ういろう」。秀吉の北条攻めや、太平洋戦争下での企業統制令など戦乱による外的要因で存続が危ぶまれた。いずれも小田原の人たちが「ういろう」を残すよう尽力し、薬を作り続けられたという。「心を込めたものづくりを、地域の皆さんに評価いただき今がある。この薬を絶やすわけにはいかない」。

まさかの後継者指名/

25代目は先代の甥に当たり、「自分が当主になるとは思ってなかった」という。大学卒業後は大手銀行で企画・マネジメント業務に心血を注いでいた。先代から本家を継いでほしいと要請があったのは43歳の時。学者肌で薬づくりに命を懸けてきた先代に比べ自分は任にあらざと固辞するが、90歳を過ぎた先代から経営だけでも、と再三に渡り懇願される。「自分は物心ついた頃からういろうの薬しか飲んだことがない。多く



(株)ういろう

薬と菓子の製造販売を行う。「ういろう」と親しまれる薬の正式名称は「透頂香」で、一子相伝の生薬。菓子の「ういろう」は、朝廷に仕えていた外郎家の二代目が国寶のもてなし菓子として創作したのが始まりという。『東海道中膝栗毛』では、喜多八が菓子のういろうと勘違いして薬のういろうを食べてしまう場面が登場する。
小田原市本町1-13-17 TEL 0465 (24) 0560

の愛用者のためにもこの老舗を継続しなければ」と使命感が湧いてくる。

無遅刻・無欠席、首席で卒業/

次期当主として、「ういろう」の存続には地域との連携が不可欠だとの考えに至る。地元の方に外郎家のことを理解してもらおう「情報公開」と共に、老舗として観光地小田原の活性化に役立つと博物館を開館し、小田原市観光協会でも精力的に動いた。しかし――

「万が一のことがあった時、自分は薬屋のトップとして腹を切れるのか?」。出した答えは、「薬を勉強すること」だった。先代は心臓の持病が悪化し、担当医からは「薬学部を終える6年後までに存命している確率は1%未満」と、経営に集中するよう忠告される。「正直なところ、私自身も薬剤師になる自信はありませんでした。しかし、ここで自分を追い込まなければ人生がつまらない。また従業員に私の覚悟を見せ、老舗の

未来を示したい、と思ったのです」。45歳で横浜薬科大学漢方薬学科に入学。「入学式では保護者席に案内されました(笑)。はじめての理系、25年ぶりの学業はゼロからの出発」。講義は一言も聞き漏らすまいと6年間無遅刻・無欠席、結果として首席で卒業。薬剤師国家試験に合格し、それを見届けてから先代は100歳で逝去した。

これからも対面販売のみ/

薬と菓子、どちらのういろうも、小田原でしか販売していない。インターネット販売はせず、デパートなどからの引き合いも断っているという。「過度な競争で利益を追求すれば、経済環境の変動に翻弄されます」。地域の健康を守ることが外郎家のミッションであり、目の行き届く範囲で作り、お客さまに手渡す。「家業を継ぐことは苦行ではない」と25代目。長い歴史を持つ老舗には、「ういろう」の芳香が染み渡っていた。

KIP

EVENT

information **10月** **11月**

KIP マークのあるイベントの詳細・お申し込みは
<http://www.kipc.or.jp>
 ※ 予定情報につき、詳細はこちらでご確認ください

セミナー

よろず支援拠点: yorozu@kipc.or.jp

アポイントが取れず悩む法人営業マンの皆さん!
明日からできる! 顧客と繋ぐ必殺テレアポ術

▶ 開催日時: 10月15日(月) 14:00~16:00
 ▶ 場所: 神奈川中小企業センタービル
 ▶ 講師: 川崎経営コンサルティングオフィス
 代表 川崎 悟 氏

展示会

平塚商工会議所: <http://www.shokonet.or.jp/hiratuka/techno/>

湘南ひらつかテクノフェア2018 ※入場無料
 107の企業・団体が出展し、製品や技術等を展示

▶ 開催日時: 10月18日(木)~20(土) 10:00~17:00(最終日は16:00で終了)
 ▶ 場所: ひらつかサン・ライフアリーナ

国際課: kokusai@kipc.or.jp

セミナー

フィリピン ビジネス勉強会 [第1回]
フィリピンの最新概況と進出日系企業動向

▶ 開催日時: 10月30日(火) 14:00~16:30
 ▶ 場所: 神奈川中小企業センタービル
 ▶ 講師: JETRO海外調査部アジア大洋州課 渡邊 敬士 氏
 (株)長津製作所 取締役社長 山野井 清 氏

国際課: kokusai@kipc.or.jp

セミナー

ベトナム ビジネス勉強会 [第4回]
ベトナムの人事・労務管理のポイント

▶ 開催日時: 11月28日(水) 13:30~16:30
 ▶ 場所: 神奈川中小企業センタービル
 ▶ 講師: ES NETWORKS VIETNAM Co., Ltd. 酒井 寿幸 氏 他

事業承継ネットワーク: kanagawa-net@kipc.or.jp

セミナー

支援機関向け「事業承継セミナー」実践編
事業承継計画の策定/M&Aでの事業承継

▶ 講師: 税理士 舟生 俊博 氏
 神奈川県事業引継ぎ支援センター
 神谷 慎一 統括責任者

【湘南地区】 先着90名
 ▶ 開催日時: 10月11日(木) 14:00~16:00
 ▶ 場所: 藤沢商工会議所

【横須賀・三浦地区】 先着60名
 ▶ 開催日時: 10月12日(金) 14:00~16:00
 ▶ 場所: 横須賀商工会議所

【県央地区】 先着48名
 ▶ 開催日時: 10月16日(火) 14:00~16:00
 ▶ 場所: 相模原市立産業会館

【県西地区】 先着100名
 ▶ 開催日時: 10月18日(木) 14:00~16:00
 ▶ 場所: 小田原箱根商工会議所

よろずの経営塾

よろず支援拠点: yorozu@kipc.or.jp

ほぼ毎週開講! 「よろずの経営塾」~行動あるのみ。 1名でも開講します (先着10名)

▶ 場所: 神奈川中小企業センタービル ▶ 講師: 神奈川県よろず支援拠点のコーディネーター等 ※ 内容が変更になる場合があります

直感的に把握しよう!財務分析のいろは

▶ 開催日時: 10月15日(月) 15:30~16:30
 ▶ 講師: 金崎 努 コーディネーター

1人社長のためのモチベーションアップと事業計画作り

▶ 開催日時: 11月5日(月) 15:30~16:30
 ▶ 講師: 馬場 美州 コーディネーター

創業に関する税金の知識

▶ 開催日時: 10月18日(木) 15:30~16:30
 ▶ 講師: 桐澤 寛興 コーディネーター

社外環境・動向を把握しよう(基本編)

▶ 開催日時: 11月12日(月) 15:30~16:30
 ▶ 講師: 島谷 健太郎 コーディネーター

創業時の売上計画の立て方
 (飲食・小売・サービス業向け)

▶ 開催日時: 10月23日(火) 15:30~16:30
 ▶ 講師: 藤村 典子 コーディネーター

新規顧客開拓に必要な営業スキルとは?

▶ 開催日時: 11月19日(月) 15:30~16:30
 ▶ 講師: 富森 富士夫 コーディネーター

誰でもわかるマニュアルの作り方講座

▶ 開催日時: 11月1日(木) 15:30~16:30
 ▶ 講師: 元山 茂樹 コーディネーター

強み発掘!
会社・お店のキャッチフレーズを作ろう

▶ 開催日時: 11月26日(月) 15:30~16:30
 ▶ 講師: 天満 正俊 コーディネーター

「中小企業サポートかながわ」はKIPのホームページにも掲載しています。冊子をご希望の方には、毎号お届けします(無料)。郵便番号/所在地/企業名/担当者名(個人も可)/部数を、右記にご連絡ください。

編集/発行 公益財団法人 神奈川産業振興センター(KIP)
 Kanagawa Industrial Promotion Center
 横浜市中区尾上町5-80
 神奈川中小企業センタービル
 TEL 045(633)5201
 FAX 045(633)5194
<http://www.kipc.or.jp>

